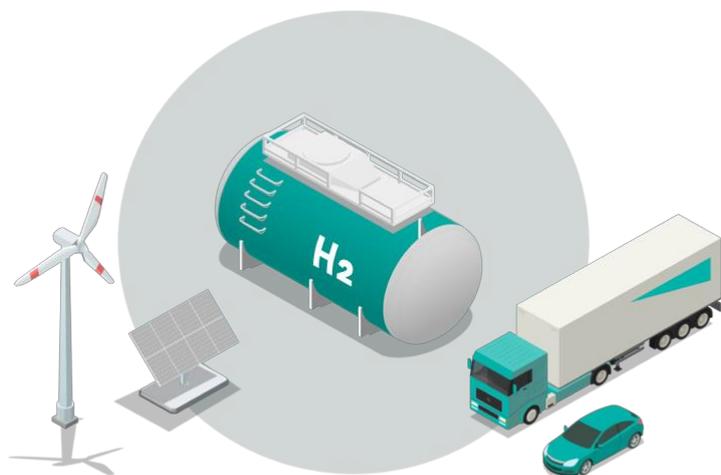


水素の需要

プラチナはエネルギー転換に
不可欠なメタル



ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルによる最新の infographic は、水素技術の利用によるプラチナの需要の成長の背景を解説している。

プラチナを触媒として使う固体高分子膜 (PEM) 技術は、水電解装置と燃料電池という水素を使う二つの重要な分野で使う。

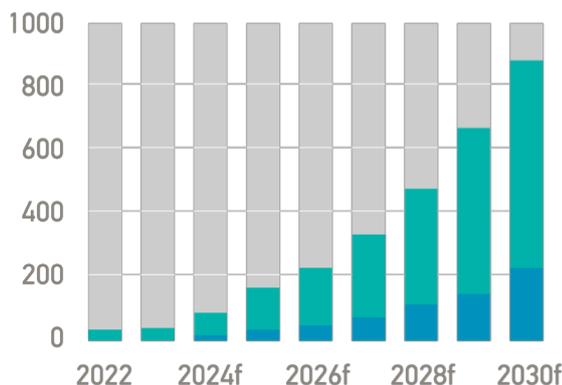
燃料電池は主に燃料電池自動車 (FCEV) に使われ、再エネを使って PEM 型水電解装置で生産された水素はカーボンフリーのグリーン水素となる。グリーン水素で走る燃料電池自動車は排気

ガスを全く排出しない移動・交通手段だ。

水電解装置と燃料電池の利用によるプラチナ需要は、2030年までに28.0トンに達するとされ、世界のプラチナ需要にとって成長が期待される分野だ。

特に燃料電池はその最大分野で、陸・海・空の運輸交通に使われる燃料電池と定置型燃料電池のプラチナ需要の予測は2030年までに18.7トンに達する予測。

水素を使うプラチナの需要予測は
2030年までに約28.0トン



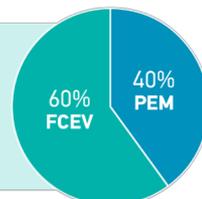
出典：国際エネルギー機関、WPICリサーチ

11%

2030年までに世界のプラチナ需要に水素関連が占める割合

60%

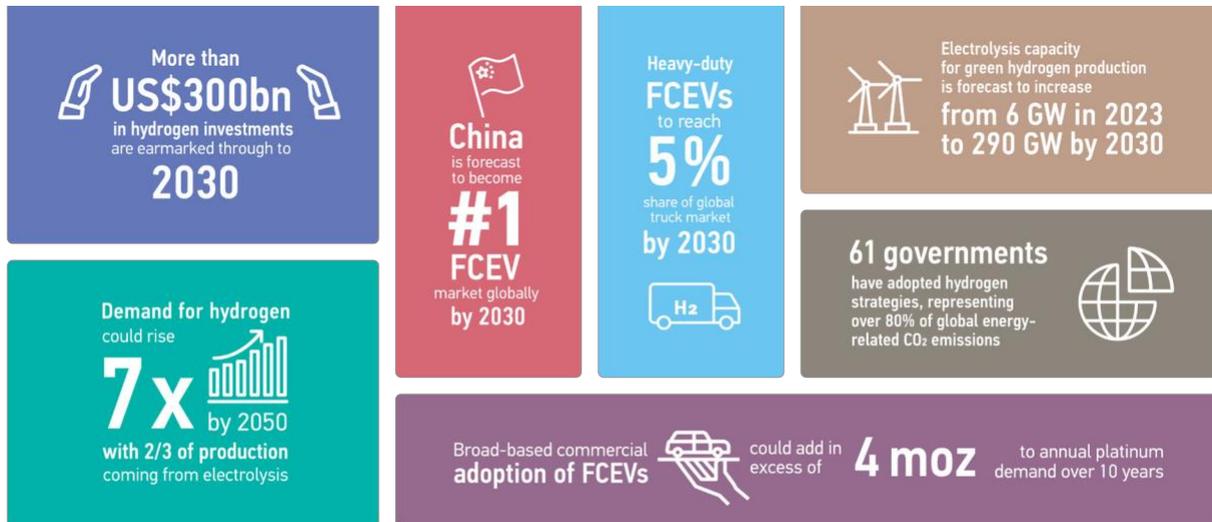
水素関連のプラチナ需要に燃料電池が占める割合



成長市場

水素はネットゼロを達成するために重要な役割を果たし、プラチナベースのPEM技術市場は成長過程にある。

それを支える投資、協力体制、そして政府の支援策なども増えており、それらがプラチナの需要の伸びを後押ししている。



Contacts:

Brendan Clifford, Institutional Distribution, bclifford@platinuminvestment.com

Edward Sterck, Research, esterck@platinuminvestment.com

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, szeng@platinuminvestment.com



免責事項: © 2024 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び略称WPICは、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。